

科目名	技術論	英語科目名	Criticism on Technology
開講年度・学期	平成21年・後期	対象学科・専攻・学年	機械工学科5年
授業形態	講義	必修 or 選択	選択
単位数	1単位	単位種類	履修単位(30h)
担当教員	田中好一	居室(もしくは所属)	機械工学科棟1階
電話	0280-20-2207	E-mail	ktanaka@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
<ol style="list-style-type: none"> ものづくりと技術の歴史について説明できること。 工作機械の意味とその歴史を説明できること。 大量生産とCNC工作機械について説明できること。 現代技術の諸問題を説明できること。 地球環境問題と環境対策技術を説明できること。 			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
達成目標1～5:試験での関連問題について60%以上の成績で達成とする。 但し、場合によっては演習問題や課題を課することがある。			
評価方法			
年2回の試験(各50分又は90分)の相加重平均で評価する。 試験によっては、電卓、定規、指定用紙等の持込を許可する。			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> ものづくりの歴史と技術の歴史について(1) ものづくりの歴史と技術の歴史について(2) 機械工作について(1) 機械工作について(2) 工作機械の意味とその歴史(1) 工作機械の意味とその歴史(2) 大量生産とCNC工作機械について(1) 【中間試験】 大量生産とCNC工作機械について(2) 大量生産とCNC工作機械について(3) 1. 現代技術の諸問題を説明できること(1) 2. 現代技術の諸問題を説明できること(2) 3. 地球環境問題と環境対策技術を説明できること。(1) 4. 地球環境問題と環境対策技術を説明できること。(2) 5. 環境問題と技術者について 【期末試験】			
キーワード	技術、工作機械、大量生産、環境問題		
教科書	毎回配布されるテキスト使用		
参考書			
小山高専の教育方針①～⑥との対応	①		
技術者教育プログラムの学習・教育目標			
(C-2) 社会・経済と技術の共生の可能性を理解できる。			
JABEE 基準1の(1)との関係	(b)		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	機械工作法		
現学年の関連科目			
次年度以降の関連科目	技術者倫理		
連絡事項			
シラバス作成年月日	平成21年 2月27日		

1. 地球環境と技術1
 2. 地球環境と技術2
 3. 地球温暖化1
 4. 地球温暖化2
 5. 地球温暖化3
 6. オゾン層破壊1
 7. オゾン層破壊2
 8. オゾン層破壊3
 9. 酸性雨1
 10. 酸性雨2
 11. 放射能汚染1
 12. 放射能汚染2
 13. 持続可能な開発1
 14. 持続可能な開発2
 15. 持続可能な開発3
- (学年末試験)